

# 第 72 回関東ブロック国体 ラグビーフットボール競技

**1 期 日** 平成 29 年 8 月 25 日(金)・26 日(土)・27 日(日)

- ・少年男子 25 日(金)・27 日(日)
- ・成年男子 26 日(土)
- ・女子 26 日(土)

**2 会 場** 桐生市ユニー広場 (少年男子・成年男子)

〒376-0011 桐生市相生町 3 丁目 444 TEL 0277-54-5705

桐生市陸上競技場 (少年男子・女子)

〒376-0027 桐生市元宿町 17-33 TEL 0277-44-7436

### 3 種別及び参加人数

種 別	監 督	選 手	参加都県	小 計	合 計
成年男子	1	10	8	88	368
女子	1	10	8	88	
少年男子	1	23	8	192	

(注)成年男子・女子については、監督が選手を兼ねる事が出来る。

### 4 競技上の規定及び方法

- (1) 2017 年度 World Rugby 制度の競技規則による。
- (2) 試合時間は、下表のとおりとする。

種 別		前 半	休 憩	後 半	備 考
成年男子	7 人制	7 分	1 分	7 分	
女子	7 人制	7 分	1 分	7 分	
少年男子	15 人制	25 分	5 分	25 分	決勝は 30 分ハーフ

- (3) 成年男子の試合形式について、4 チームずつの 2 グループの総当たり戦によるリーグ戦を行い、各グループ 1 位 2 チームと 2 位同士の勝者 1 チームの 3 チームを代表とする。

各プールにおける順位の設定は、各リーグ全試合の勝ち点の合計により決定する。

勝ち点は、勝ち(不戦勝含む) 3 点、引き分け 2 点、負け 1 点、棄権(不戦敗含む) 0 点とする。

なおリーグ戦終了時点で、2 つ以上のチームが勝ち点数が同じ場合は、下記の基準と順序に従い決める。

- ① 各プールでの、当事 2 チーム間で勝利したチームを上位とする。
- ② 各プールでの、当事 2 チーム間の勝敗が同じ場合は、下記の手順で上位チームを決める。
  - a) 各プール全試合の得点数と被得点数の差が最も大きいチームが上位となる。
  - b) 各プール全試合のトライ数と被トライ数の差が最も大きいチームが上位となる。
  - c) 各プール全試合で最もトライ数の多かったチームが上位となる。
  - d) 上記基準を用いてもなお順位が付けられない場合は抽選で順位を決める。

- ③ 各プール2位同士の試合において同点の場合、次の方法で決める。
- トライ数の多いチーム。
  - トライ数も同数の場合は、トライ後のゴール数の多いチーム。
  - 上記の方法で決定できない時は、抽選によって決める。
- (4) 女子の試合形式について、4チームずつの2グループの総当たり戦によるリーグ戦を行い、各グループ1位同士の決定戦勝者1チームを代表とする。
- 各プールにおける順位の設定は、各リーグ全試合の勝ち点の合計により決定する。各試合の勝ち点は、勝ち（不戦勝含む）3点、引き分け2点、負け1点、棄権（不戦敗含む）0点とする。なおリーグ戦終了時点で、2つ以上のチームが勝ち点数が同じ場合は、下記の基準と順序に従って決める。
- 各プールでの、当事2チーム間で勝利したチームを上位とする。
  - 各プールでの、当事2チーム間の勝敗が同じ場合は、下記の手順で上位チームを決める。
    - 各プール全試合の得点数と被得点数の差が最も大きいチームが上位となる。
    - 各プール全試合のトライ数と被トライ数の差が最も大きいチームが上位となる。
    - 各プール全試合で最もトライ数の多かったチームが上位となる。
    - 上記基準を用いてもなお順位が付けられない場合は抽選で順位を決める。
- (5) 少年男子の場合はトーナメント方式とする。
- トーナメントにおいて規定時間内に、同点のため次の試合への出場チームが決まらない場合及び順位を決めなければならない場合、次の方法で決める。
- トライ数の多いチーム。
  - トライ数も同数の場合は、トライ後のゴール数の多いチーム。
  - 上記の方法で決定できない時は、抽選によって次回への出場を決める。
- (6) ①選手の「入れ替え（戦略的）」と「交替（負傷交替）」
- リザーブ選手は、1チームあたり4名以内とし、「入れ替え（戦略的）」または「交替（負傷交替）」ができる。
- 入れ替え（戦略的）により退出したプレーヤーは、出血しているプレーヤーが発生した場合、一時的に交替し再度その試合に加わってもよい。尚、入れ替え（戦略的）により退出したプレーヤーの入れ替え（戦略的）はフリーで5回までとする。
- 負傷交替で退出した選手は、いかなる理由があってもその試合に再び加わることはできない。
- ②ブラッドビン（出血処置による一時的交替）
- 出血処置による一時的交替は15分以内。（15人制同様ルール／ランニングタイムで計測）  
（止血処置は原則チームドクターが対応することとし、再出場の判断はマッチドクター及び第3アシスタントレフリーの確認を必要とする。尚、チームドクターがいない場合はマッチドクターが対応する）
- (7) 罰 則
- 同一試合で同一選手にイエローカードが2枚示された場合、その場で退場となる。
  - レッドカードが示された場合、その場で退場となる。
  - 上記①②に加え、イエローカードが累積3枚になった場合、最低限1試合と次戦に出場することは出来ない。4枚目以降も同様とする。（大会規律委員会にて裁定）  
\*シンビン、レッドカード（退場）は本ブロック大会のみに適用されるものとする。

## 5 参加資格・所属都県及び選手の年齢について

第72回国民体育大会関東ブロック大会総則8に定めるもののほか次による。

- (1) 少年男子・女子
- 高校生の場合は、所属する都県ラグビーフットボール協会会長が人物、身体、学業など適当と認めた者とする。

- (2) 監督  
チームの監督は、(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ラグビーフットボールコーチ [(公財)日本ラグビーフットボール協会強化コーチ]、公認ラグビーフットボール上級コーチのいずれかの資格を有する者とする。
- (3) その他  
(公財)日本体育協会規定および(公財)日本ラグビーフットボール協会選手・役員規定に違反する者は参加できない。

## 6 参加上の注意事項

- (1) 少年男子・女子は、マウスピースの着用。また、少年男子・19歳未満の女子選手には必ずヘッドギア(※IRB競技に関する規定第12条に適合するIRBマークが付いたヘッドギア)着用を義務とすること。
- (2) アシスタントレフリーは大会本部で行う。
- (3) 少年男子・成年男子・女子ともに、セーフティーアシスタントはチームで準備することを原則とする。ただし、大会本部に事前に連絡があれば、大会本部で行う。
- (4) 競技中及びその前後に使用するユニフォーム類には、胸に所属する県名を必ず明示すること。
- (5) その他、参加資格に疑義のある場合は大会本部で裁定する。

## 7 参加・宿泊申し込み手続き

- (1) 第72回国民体育大会関東ブロック大会総則、宿泊要項を熟読の上、参加申込、参加者負担金及び宿泊申込等を定められた期限までに指定されたWebページ及び場所に提出すること。
- (2) 宿泊業務取扱機関は『株式会社JTB 関東 法人営業群馬支店』とする。
- (3) 登録選手の変更
  - ① 代表者会議の前日までに群馬県ラグビーフットボール協会事務局に所定の用紙をメールにて提出し、本部の承認を受ける。
  - ② 本部は代表者会議の席上で変更点を発表する。これ以降の変更は認めない。

## 8 組合せ抽選会

- (1) 日 時 平成29年5月22日(月)
- (2) 場 所 群馬県立敷島公園サッカーラグビー場会議室

## 9 代表者会議

少年男子

- (1) 日 時 平成29年8月24日(木) 15時
- (2) 場 所 桐生市ユニー広場会議室

成年男子・女子

- (1) 日 時 平成29年8月25日(金) 15時
- (2) 場 所 桐生市ユニー広場会議室